

2023 年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部:第75 回大会*1

5 月 26～28 日、東京家政大学 演題登録は口頭発表123 題、ポスター発表114 題で、参加者は641 名であった。

*1: 対面開催した。

2) 支部:研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9 月 23 日 *2
関東支部	2 月 15 日 *2
中部支部	9 月 9 日 *1、2 月 4 日 *1
関西支部	10 月 14 日 *1
中国・四国支部	10 月 15 日 *1
九州支部	10 月 15 日 *1

*1: 対面開催した。*2: オンライン開催した。

3) 部会:研究発表会を開催

家政学原論部会	8 月 21・22 日 *3
生活経営学部会	8 月 24 日 *2
家族関係学部会	10 月 29 日 *3
食文化研究部会	4 月 15 日、6 月 10 日、7 月 8 日、9 月 16 日、11 月 12 日(研究大会)、12 月 9 日、2 月 3 日、3 月 9 日 *3
服飾史・服飾美学部会	3 月 2 日 *3
被服心理学部会	8 月 29 日 *2、2 月 26 日 *2

*1: 対面開催した。*2: オンライン開催した。*3: ハイブリッド方式で開催した。

(2) セミナー

1) 本部:第 6 回家政学夏季セミナー

9 月 3 日(日)～5 日(火)に、島根県大田市(石見銀山地区)にて開催した。セミナー参加者は、正会員53 名、非会員8 名、学生8 名、オンライン参加13 名(計72 名)。

2) 部会:

家政学原論部会	8 月 21・22 日 *3
食文化研究部会	10 月 14 日 *1
被服構成学部会	9 月 5・6 日 *1
被服衛生学部会	8 月 22・23 日 *1
被服心理学部会	8 月 29 日 *2、2 月 26 日 *2
色彩・意匠学部会	9 月 6・7 日 *1
家政教育部会	8 月 23・24 日 *3、3 月 21 日、5 月 16 日 *3

*1: 対面開催した。*2: オンライン開催した。*3: ハイブリッド方式で開催した。

3) 若手の会: セミナー開催を延期した。

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第75回大会時開催(5 月 27・28 日) *1

公開講演会、シンポジウム、教育講演、国際交流委員会、若手の会企画、家庭生活アドバイザー認定交付式・講演会、ランチョンセミナー

*1: 対面開催した。

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9 月 23 日 *2
関東支部	4 月 22 日 *2、8 月 5 日 *1
中部支部	9 月 9 日 *1
関西支部	4 月 22 日 *1、10 月 14 日 *1
中国・四国支部	10 月 14 日 *1
九州支部	10 月 14 日 *1

*1: 対面開催とした。*2: オンライン開催とした。

3) 部会:公開講演会を開催

生活経営学部会	8月24日*2
家族関係学部会	10月28日*3
被服構成学部会	2月26日*2
被服衛生学部会	7月22日*2
被服心理学部会	8月29日*2、2月26日*2
色彩・意匠学部会	3月8日*1
服飾史・服飾美学部会	5月28日*1
食文化研究部会	11月12日*3
家政教育部会	8月23日*3
住居学部会	9月30日*3、2月18日*3

*1:対面開催した。*2:オンライン開催した。*3:ハイブリッド方式で開催した。

大会企画を開催

家政学原論部会	5月28日*1
被服整理学部会	5月29日*1
服飾史・服飾美学部会	5月28日*1
食品組織部会	5月27日*1
住居学部会	5月28日*1
児童学部会	5月27日*1

*1:対面開催とした。

若手の会:第75回大会時セミナー(5月27日)を対面開催した。*1

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部

1) 学会誌「日本家政学会誌」74巻4号～12号及び75巻1号～3号(12回)を各2,500部発行し、J-STAGEで公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数・内訳及び総ページ数】

巻号	第74巻										第75巻			掲載された論文数合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	3	0	2	2	1	3	3	2	0	1	3	2	22
	ノート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	資料	1	4	0	1	1	0	1	2	3	0	1	2	16
部門別編数	原論・経営		1	1		1			1					4
	児童・家族	3	1	1	1			1		1	1			9
	食物	1	2		1			1	2	1		2	2	12
	被服						3		1	1		2	2	9
	住居				1				2		1			4
	教育・その他					1								1
合計	4	4	2	3	2	3	4	4	3	2	4	4	39	
ページ数	50	43	27	42	17	40	50	43	33	23	43	45	456	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
2022年度	5	12	16	10	8	3	0	54
2023年度	5	10	26	14	1	8	1	65
増減	0	▲2	10	4	▲7	5	1	11

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
2023年度	29	3	8	18	58

【倫理審査実施論文の部門別内訳】

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
倫理審査	1	2	2	2	0	3	1	11
審査伺い	0	1	0	0	0	0	0	1
証明書確認	0	7	18	5	0	2	0	32
合計	1	10	20	7	0	5	1	44

倫理審査:審査を実施した論文

審査伺い:倫理審査不要、前回投稿時の倫理審査を引き継いでよい、と判断された論文

証明書確認:所属先倫理承認証明書と論文記載内容の確認 2022 年10 月以降実施

参考:2022 年度 倫理審査9 件、審査伺い2 件、証明書確認8 件 計19 件

2) 第 75 回大会研究発表要旨集を900 部発行し、J-STAGE で公開した。

(2) 支部:以下の要旨集等を刊行した。(データ送信含む。)

東北・北海道支部	「2023 年度第66 回研究発表会要旨集」
関東支部	「第26 回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」
中部支部	「第67 回(2023年度)大会要旨集」 「第24 回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2023(令和5)年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「第69 回(2023)研究発表会・研究発表要旨集」
九州支部	「2023 年度(第67 回)研究発表要旨集」

(3) 部会:以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.57;J-STAGE 上公開) 「2023年度家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE 公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」(機関誌発行とJ-STAGE 公開)
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会会報」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」 「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季セミナー要旨集」 「色彩・意匠学部会春季公開講演会資料集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」

3. 研究及び調査の実施

(1) 支部:中部支部若手の会で勉強会:「高香園(茶園)の見学」、「有松絞り体験」を実施した。 関東支部若手の会で勉強会を実施。

(2) 部会:研究会、調査等を実施した。

家政学原論部会	食文化研究部会	被服構成学部会
色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 本部

1) 2023 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。

学会賞:井上尚子氏、立松麻衣子氏

奨励賞:小泉昌子氏、筒浦さとみ氏

功労賞: 森田みゆき氏

2) 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。

支部: 中部支部、関西支部

部会: 家政学系編部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服構成学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、住居学部会、家政教育部会

3) 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。

東北・北海道支部、関東支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部

4) 第75回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。

部会: 児童学部会、食品組織部会、被服整理学部会、服飾史・服飾美学部会、住居学部会

(2) 支部

1) 東北・北海道支部:

- ①2023年度若手会員および学生研究者への研究助成において審査の結果2件の研究に対して研究助成を行った。
- ②2023年度研究発表において優れた学生発表3件に対して表彰を行った。

2) 関東支部:

- ①家政学関連卒業論文・修士論文研究発表者に発表奨励賞を授与した。

3) 中部支部:

- ①若手の会の活動に奨励金を支給した。
- ②日本家政学会誌に掲載された若手研究者1名に中部支部論文奨励賞を授与した。
- ③中部支部大会の研究発表会発表者2名に中部支部大会発表奨励賞を授与した。
- ④家政学関連院生・学生研究発表会発表者2名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。

4) 関西支部:

- ①2023年度支部研究発表会において優れた研究発表を行った若手研究者3名に若手優秀発表賞を授与した。

5) 中国・四国支部:

- ①2023年度支部研究発表会において優れた研究発表を行った5名の会員に優秀研究発表賞を授与した。

(3) 部会

1) 家政学系編部会: 各地区会に研究活動費を補助した。

2) 生活経営学部会: 各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。

3) 食文化研究部会: 石川壯太郎食文化研究奨励賞授賞者を選考したが、該当者なしと決定した。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

- 1) 資格取得のための第7期研修会と資格試験を、オンライン方式で実施した。
- 2) 資格保持者のための資格更新研修と活動報告会を、オンライン方式で実施した。
- 3) 今後の資格のあり方について継続して検討した。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部

- 1) 国際交流委員会: 国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE・ARAHEとの連携活動、国際交流委員会HPの更新、メルマガへの情報発信などの活動を行った。
- 2) 関連学会との交流: 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。
- 3) 学協会関係: 生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行った。
各部会として、日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会でのシンポジウムへの参加を推進した。
- 4) 公益財団家政学研究助成基金: 総数3名(うち学会員3名)に対し研究助成がなされた。
- 5) 生活やものづくりの学びネットワーク: 関連学協会と連携して生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム(9月30日)、春の学習交流会(3月23日)をZOOMにて開催し、年ご2回の会報「生活やものづくりの学びネットニュース第25号、26号」を刊行した。

(2) 部会

7. その他の目的を達成するために必要な事業

(1) 総務委員会:

- 1) 一般社団法人日本家政学会電子帳簿保存法に関する規程、学会賞選考規程学会賞及び奨励賞選考基準に関する申し合わせ、就業規則、巻末補則事項の会員謝辞金、論文投稿規程及び執筆要領の改正を行った。特別委員会の事業が終了したので「一般社団法人日本家政学会日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント」特別委員会を解散し、規程を廃止した。
- 2) オンラインによる会議・業務が円滑に遂行できるよう環境整備に努めた。

(2) 財務委員会:

- 1) 財務関係書類の点検を行い、課題を解消した。
- 2) インボイス制度について公認会計士事務所との情報交換を行い、財務処理の課題事項に関する確認情報を得た。

(3) 情報管理委員会:

- 1) ホームページは毎月2回更新した。
- 2) メールマガジンを85回配信した。
- 3) 下記の部会の活動動画をホームページに掲載するとともに、YouTube配信した。
(生活経営学部会、家族関係学部会、食品組織部会、被服材料学部会、被服構成学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学部会、若手の会)

(4) 編集委員会:

- 1) 倫理申請について見直し、修正した。
- 2) 付記の扱いについて見直し、修正した。
- 3) J-STAGEの要請に応じた。

(5) 刊行委員会:2023年度には刊行を行わなかった。

(6) 日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会

- 1) 「日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント」を第75回大会時に委員会報告(5月27日)として公表した。
- 2) 学会誌(Vol.74 No.6)ならびにHPに掲載した。
- 3) 9月に設置期間を終了した。

(7) 世界家政学の日のイベント

2024年3月21日に、日本家政学会主催による初めての世界家政学の日のイベントをオンラインにて開催した。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1) 総会

1) 本部:2023年度代議員総会、5月27日、対面開催 出席者62名(代議員43名、理事・監事19名)

2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部 ³	関東支部 ²	中部支部 ¹
	関西支部 ¹	中国・四国支部 ¹	九州支部 ²
臨時総会	東北・北海道支部 ²	関東支部 ²	関西支部 ¹

*1:対面開催した。*2:オンライン開催した。*3:書面による開催とした。

3) 部会:

通常総会	家政学原論部会 ³	生活経営学部会 ²	家族関係学部会 ³	児童学部会 ¹
	食品組織部会 ²	食文化研究部会 ⁴	被服材料学部会 ¹	被服心理学部会 ¹
	被服構成学部会 ²	被服衛生学部会 ¹	被服心理学部会 ²	色彩・意匠学部会 ³
	服飾史・服飾美学部会 ¹	家政教育部会 ³	住居学部会 ¹	
臨時総会	被服衛生学部会 ¹			

*1:対面開催した。*2:オンライン開催した。*3:ハイブリッド方式で開催した。*4:オンラインと書面を併用した。

4) 若手の会:幹事の役割、企画等の見直しや検閲を行った。

(2) 理事会、役員会等

1) 本部:理事会4 回(うちweb 会議3 回、ハイブリッド会議1 回)、臨時理事会2 回、会長副会長会7 回(うち web 会議6 回、対面会議1 回)

2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会3 回(メール審議)
関東支部	支部役員会7 回(3 回はweb 会議、4 回はメール審議)
中部支部	支部役員会3 回(1 回はweb 会議) 支部役員連絡会2 回(web 会議)
関西支部	支部役員会3 回
中国・四国支部	支部常任幹事会4 回(web 会議1 回、メール審議3 回) 支部機関幹事会1 回(web 会議)
九州支部	支部役員会5 回(対面1 回、メール審議4 回)

3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会13 回(web 会議)、 新旧役員会 1 回(対面及びweb 会議)
生活経営学部会	常任委員会 7 回(メール審議1 回、web 会議6 回)、 部会役員会 1 回(web 会議)
家族関係学部会	部会役員会 3 回(メール審議1 回、オンライン会議2 回)
児童学部会	1 回(メール審議)
食品組織部会	1 回(メール審議)
食文化研究部会	10 回(web 会議9 回、メール審議1 回)
被服材料学部会	部会幹事会2 回(メール審議1 回、対面1 回)
被服整理学部会	部会企画などについて2 回(メール審議)
被服構成学部会	4 回(web 会議)
被服衛生学部会	3 回(web 会議)
被服心理学部会	2 回(web 会議)
色彩・意匠学部会	部会役員会3 回(対面)
服飾史・服飾美学部会	部会役員会4 回(web 会議 3 回、メール審議1 回)
住居学部会	3 回(web 会議)
家政教育部会	4 回(対面1 回、メール 会議 3 回)

4) 若手の会: 幹事会1 回(web 会議)、大会企画 2 回(メール審議 1 回、web 会議1 回)

(3) 各種委員会

1) 本部:

役員選挙管理委員会	4 回
財務委員会	2 回(web 会議、メール審議)
企画・広報委員会	1 回(web 会議)
国際交流委員会	3 回(web 会議、大会企画3 回(web 会議)
編集委員会	4 回(web 会議、ハイブリッド会議)
研究発表審査委員会	1 回
学会賞選考委員会	3 回(web 会議、ハイブリッド会議)
功労賞推薦委員会	2 回(web 会議、ハイブリッド会議)
名誉会員審査委員会	2 回(web 会議)
家政学夏季セミナー実行委員会	8 回(メール審議)
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6 回(web 会議、メール審議)
日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会	2 回(web 会議)

2) 支部:

東北・北海道支部	支部選挙管理委員会 3 回(対面)、支部若手研究助成選考委員会 1 回(メール審査)、支部学生表彰選考委員会1 回(メール審査)
関東支部	選挙管理委員会4 回(うち3 回はweb 会議) 若手の会幹事会5 回(うち4 回はweb 会議)
中部支部	若手の会役員会(ミーティング)5 回 中部支部奨励賞選考委員会3 回(うち1 回はメール審議)
関西支部	若手の会幹事会 3 回(うち2 回はweb 会議)
中国・四国支部	選挙管理委員会1 回(web 会議) 優秀研究発表賞選考委員会1 回(web 会議)
九州支部	支部選挙管理委員会3 回(メール会議2 回、対面1 回)

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会12回、選挙管理委員会2回(web1回、対面1回)
生活経営学部会	企画委員会、会誌編集委員会等につき随時メール及びweb会議
家族関係学部会	編集委員会8回(メール会議1回、オンライン会議7回)、セミナー実行委員会4回(うち3回メール会議)
児童学部会	会誌編集委員会等につき随時メール会議
食品組織部会	大会企画実行委員会1回、出版企画委員会4回
食文化研究部会	会誌編集委員会8回、奨励賞選考委員会2回(web会議)、文献目録検討委員会9回(web会議)
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他5回(メール審議)
被服整理学部会	部会企画などについて(メール審議)
被服構成学部会	部会活動動画制作委員会4回(web会議)
被服衛生学部会	セミナー実行委員会7回(メール審議他)、企画委員会3回(メール審議)
被服心理学部会	セミナー実行委員会他随時メール及びweb会議
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他随時メール審議
服飾史・服飾美学部会	企画委員会2回(メール審議)
住居学部会	出版企画編集委員会のメール審議
家政教育部会	冊子編集・セミナー実行委員会4他3回(webメール審議)

9. 会員

会員の状況2024年3月31日現在

		正会員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	前年度との比較
支部	東北・北海道	149	(11)	5	-	-	154	▲7
	関東	907	(47)	60	-	-	967	▲16
	中部	202	(9)	9	-	-	211	▲9
	関西	346	(15)	22	-	-	368	▲23
	中国・四国	205	(11)	27	-	-	232	0
	九州	138	(6)	6	-	-	144	▲15
名誉会員		12	-	-	-	-	12	0
海外会員		-	-	-	7	-	7	▲2
賛助会員		-	-	-	-	31	31	0
会員種別合計		1959	(99)	129	7	31	2126	▲72
前年度との比較		▲63	4	▲7	▲2	0	▲72	

▲減少

10. 附属明細書に関する事項

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。